【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第１区分
【発行日】令和6年3月4日(2024.3.4)

【国際公開番号】WO2022/208988
【出願番号】特願2023-510215(P2023-510215)
【国際特許分類】
*G01N 35/02(2006.01)*
*G01N 35/04(2006.01)*
*B65G 54/02(2006.01)*
【FI】
G01N 35/02 G
G01N 35/04 G
B65G 54/02

【手続補正書】
【提出日】令和4年10月12日(2022.10.12)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
複数の電磁誘導コイルを二次元に配置された、キャリアの搬送面を複数個配置し、電磁誘導コイルに電流を流すことにより磁力を発生させる搬送部に、検体の分析や前処理を行う処理ユニットを接続した検体検査システムであって、
前記キャリアに磁石を組み込み、前記電磁誘導コイルに電流を印加することで前記キャリアを搬送させるキャリア制御手段と、
前記搬送部を移動する前記キャリアの位置を検出するキャリア検出手段と、
前記キャリア検出手段により、前記搬送部を移動する前記キャリアの位置を検出し、前記キャリアの到着位置までの距離に応じて前記キャリアの搬送速度を算出する搬送速度計算部と、
前記搬送部の前記キャリアの位置及び状態を管理するキャリア管理部と、
前記キャリアの移動元、移動先及び経路を管理する搬送路管理部と、
前記移動元に位置する移動元キャリアが前記移動先に存在することが可能になるまでの待機時間を算出する待機時間計算部と、
前記移動元キャリアの前記移動先への移動にかかる移動時間を計算する移動時間計算部と、を備え、
前記搬送速度計算部は前記移動時間と前記待機時間とを比較し、その比較結果に基づき前記移動元キャリアが停滞しない搬送速度を算出し、前記キャリア制御手段は算出した搬送速度で前記移動元キャリアを搬送させる、
ことを特徴とする検体検査システム。
【請求項２】
（削除）
【請求項３】
請求項１記載の検体検査システムであって、
前記待機時間計算部の算出結果に基づき、搬送可と判断される場合、前記搬送速度計算部は搬送速度を算出する、
ことを特徴とする検体検査システム。

【請求項４】
請求項１記載の検体検査システムであって、
同一経路上に前記移動先に位置する移動先キャリア及び前記移動元キャリアを同時に搬送させる場合において、前記待機時間は、前記移動先キャリアが前記移動先から移動することにより前記移動元キャリアが前記移動先に存在することが可能になるまでの時間として算出される、
ことを特徴とする検体検査システム。
【請求項５】
請求項４記載の検体検査システムであって、
同一経路上に前記移動元キャリアに後続する後続キャリアを同時に搬送させる場合において、前記移動元キャリアの前記移動時間を参照し、前記後続キャリアの搬送速度を変化させる、
ことを特徴とする検体検査システム。
【請求項６】
複数の電磁誘導コイルを二次元に配置された、キャリアの搬送面を複数個配置し、電磁誘導コイルに電流を流すことにより磁力を発生させる搬送部による搬送方法であって、
前記キャリアに磁石を組み込み、前記電磁誘導コイルに電流を印加することで前記キャリアを搬送させ、
前記搬送部を移動する前記キャリアの位置を検出し、
検出した前記搬送部を移動する前記キャリアの位置から、前記キャリアの到着位置までの距離に応じて前記キャリアの搬送速度を算出し、
前記搬送部の前記キャリアの位置及び状態と、前記キャリアの移動元、移動先及び経路を管理し、
前記移動元に位置する移動元キャリアが前記移動先に存在することが可能になるまでの待機時間を算出し、
前記移動元キャリアの前記移動先への移動にかかる移動時間を算出し、
前記移動時間と前記待機時間とを比較し、その比較結果に基づき前記移動元キャリアが停滞しない搬送速度を算出し、算出した搬送速度で前記移動元キャリアを搬送させる、
ことを特徴とする搬送方法。
【請求項７】
（削除）
【請求項８】
請求項６記載の搬送方法であって、
前記待機時間の算出結果に基づき、搬送可と判断される場合、搬送速度を算出する、
ことを特徴とする搬送方法。
【請求項９】
請求項６記載の搬送方法であって、
同一経路上に前記移動先に位置する移動先キャリア及び前記移動元キャリアを同時に搬送させる場合において、前記待機時間は、前記移動先キャリアが前記移動先から移動することにより前記移動元キャリアが前記移動先に存在することが可能になるまでの時間として算出される、
ことを特徴とする搬送方法。
【請求項１０】
請求項９記載の搬送方法であって、
同一経路上に前記移動元キャリアに後続する後続キャリアを同時に搬送させる場合において、前記移動元キャリアの前記移動時間を参照し、前記後続キャリアの搬送速度を変化させる、
ことを特徴とする搬送方法。